

学生生活

空腹を抱えて勉強

開学当時は、戦後の混乱がようやく鎮静化の方向に向かってはいたものの、まだ生活物資の窮乏は続いていた。特に食料品の不足は著しく、寮の朝食がコッペパン1つと味噌汁に、たくあん2切れという状態だった。開学の前年には、主食の代わりに砂糖が配給になる始末で、砂糖では腹が満たせない、空腹では勉強ができないということで、1週間臨時に休みにした、いわゆる「砂糖休暇」があったほどである。

しかし、1950年代前半の大学・短大進学率は約10%であり、当時の学生は空腹を抱えながらも選ばれて入学したという誇りと自負心をもち、目を輝かせて講義に聞き入った。教室は学生で満員の状態であり、本学学生生活はこのようにして始まった。



昭和29年頃の学生の暮らし

学生の経済状況(昭和24年度『山口大学一覽』より)

○学費

- イ、授業料年額 3,600円(教育学部は免除)
- ロ、納入方法 年2期(4月、11月)
- ハ、特典 貧窮免除 ニ、学友会費 未定
- ホ、受験料 400円 ヘ、入学金 400円
- ト、その他納入すべき金額 学部により特殊の実験実習の実費
- チ、1学年間納入金総額 4,400円

○内職の状況

- イ、各学部補導厚生係に於いて多少の斡旋をしている8月末までの状況は、
求職人員185名 求人数165名 斡旋人数163名
- ロ、最も多い職種名 A 事務(会社方面) B 重労働(土建方面)
- ハ、日収の状況 最高250円—最低150円 平均200円
- ニ、備考 工学部附近は内職相当あるもその他は少し

○生活費1ヶ月必要額

- A 自宅通学生 2,000円 B 寄宿舍生 3,000円
- C 下宿生 3,500円

○身上相談又は生活相談施設 厚生補導部関係に

- において担当している。主な相談事項は、
- 1. 学費の問題 2. 内職の問題 3. 家庭の事情等



課外活動の全学組織化

開学当初、課外活動は前身校がそれぞれ独自に行っていた形態を受け継ぎ、しばらくは学部ごとに続けていたが、昭和27(1952)年度までには、経済学部、教育学部とその分校、文科系一般教養学生の自治会が誕生した。全学的サークルとしても、文化部に文芸、弁論、映画(わかば会、エスポワール)、宗教、英語、音楽、新聞、社会科学研究、写真、演劇の各部ができ、また運動部に山岳、卓球、ラグビー、サッカー、テニス、野球、陸上競技、バレーボール、バスケットボールの各部ができた。

昭和26年に山口大学主管で中国五大学学生競技大会が開催されることになり、体育会設立の動きが生じた。「ひろく全学的な組織を作り、一般学生を包含した土壌の広くて深い組織が必要」と、学生中心に約3千人が署名活動を行い、昭和28年4月に運動部の全学的組織として体育会が結成された。一般体育愛好者に運動用具貸出の便宜を図るとともに、それぞれの運動部が相互に連絡をとりあいながら全運動部の発展を目指すこととなった。



山口大学体育会旗



体育会発足時の総務(昭和28年4月)
中央は松山学長

中国五大学学生競技大会

終戦後の学生に希望を与えようと新制大学誕生の翌年、昭和25年に大会が発足した。「中国地方における学生体育運動競技の健全なる普及及び発達を期し、併せて相互の親睦を図る」との理念のもと、第1回目は大会を提唱した広島大学主管で開催された。第2回大会は、運動・宿泊施設のまとまっていた山口に決まり、以降、岡山・島根・鳥取の順で主管を持ち回ることとなった。



最近の中国五大学学生競技大会壮行式

開催回		第1回	第2回	第3回
開催年		S25	S26	S27
主管大学		広島	山口	岡山
バレーボール	男	山口	山口	広島
	女	広島	島根	広島
軟式庭球	男	広島	広島	山口
	女	広島	広島	岡山
水泳		広島	岡山	岡山
卓球	男	岡山	広島	広島
	女	鳥取	岡山	山口
陸上競技		岡山	広島	広島
体操		岡山	岡山	岡山
軟式野球			広島	広島
バドミントン		鳥取	広島	広島
柔道(準)		岡山	岡山	岡山
冬季	バスケットボール	男	鳥取	鳥取
	ラグビー		山口	山口
	サッカー		岡山	広島

第1回～第3回の結果
※順位は1位のみ記載

学生寮

開学当時の学生寮は、ほとんど前身校から引き継いだもので、山口地区4、宇部地区1、下関地区1、防府地区2、光地区1の合計9寮があった。

開学当時の学生寮(昭和24年度『山口大学一覽』より)

名称	所在地	収容人数			1ヶ月経費 (食費を含む)
		男	女	計	
文理学部 鴻南寮	山口市糸米	120	-	120	1,640 円
教育学部 時雍寮	山口市芳沢町	114	-	114	1,240 円
〃 桑山寮・桑陽寮	防府市桑山	150	60	210	950 円
〃 御手洗寮	光市室積	10	50	60	950 円
〃 香山寮(後の女子寮)	山口市香山町	-	17	17	1,240 円
経済学部 鳳陽寮	山口市亀山	150	-	150	1,400 円
工 学 部 常盤寮	宇部市常盤台	120	-	120	1,200 円
農 学 部 興陽寮(後の松原寮)	下関市長府	30	-	30	不明

* 農学部寮の収容人数は松原寮を掲載



鳳陽寮



常盤寮



飯盒を囲んで...



囲碁を楽しむ学生



休日には洗濯を



時雍寮

学生歌

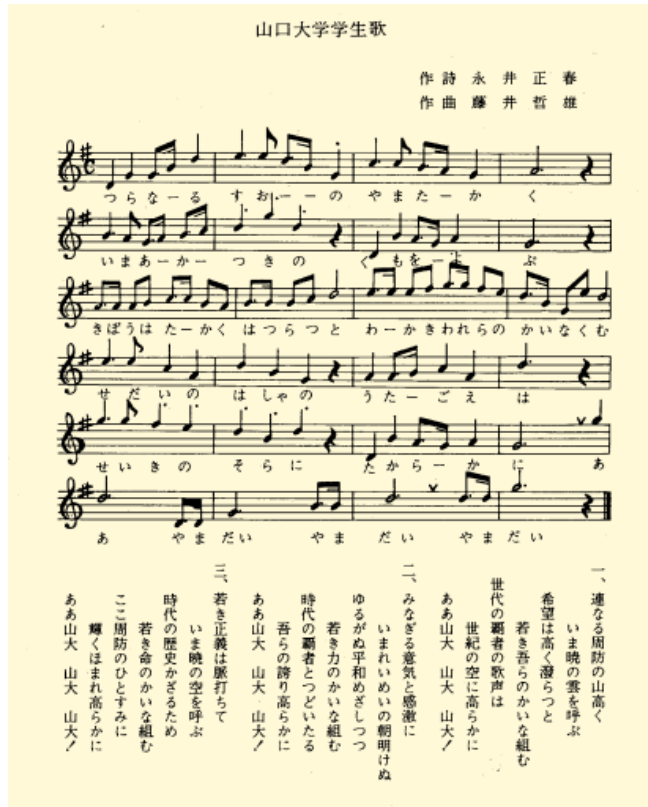
現在、入学式や卒業式の際に山口大学混声合唱団が歌う山口大学学生歌は、開学記念行事の一環として昭和26(1951)年6月に、本学学生と教職員を対象に募集が行われ、応募総数22点の中から、当時会計課職員だった永井正春氏の作品が選ばれたものである。

学生たち自治会役員はこれを喜び、当時教育学部の学生で作曲の才能を認められていた藤井哲雄氏に作曲を依頼し、昭和27年に完成した。

なお、同時に募集した山口大学標章(バッジ)は、優秀な作品が得られず、標章の制定はもう少し後の、山口大学創立三十周年記念行事(昭和54年)まで待つことになる。

山口大学学生歌

作詩 永井正春
作曲 藤井哲雄



つらな一るすお一のやまたかく
いまあーかーつきのくもぶ
きぼうはたかくはつらつとわーかきわれらのかいたくむ
せだいのはしゃのうたーごえは
せいきのそらにたからーかにあ
あやまだい やまだい やまだい

一、連なる周防の山高く
いま暁の雲を呼ぶ
希望は高く澄らつと
若き吾らのかいたくむ
世代の覇者の歌声は
世紀の空に高らかに
ああ山大 山大 山大
二、みなぎる意気と感激に
いまれいめいの朝明けぬ
ゆるがぬ平和めざしつづ
若き力のかいたくむ
時代の覇者をつどいたる
吾らの誇り高らかに
ああ山大 山大 山大
三、若き正義は旗打ちで
いま暁の空を呼ぶ
時代の歴史をかざるため
若き命のかいたくむ
こころ周防のひとすみに
輝くはまれ高らかに
ああ山大 山大 山大

映画「学園」の製作

昭和32年、学生生活の1年を描いた劇映画「学園」が製作された。当時の西日本地区の大学では珍しいもので、脚本、監督、俳優は全部学生達だった。内容は、学内の諸行事と勉学を背景に、男女学生間のロマンスも織り交ぜ、若人の交錯する哀歓を巧みなタッチで山大生活のニュアンスを十分に浮彫りにしつつ、若い健康な青春像を高らかに歌い上げており、随所に五重塔やザビエル教会、雪舟庭など観光名所も盛り込まれている。

撮影機は昭和31年夏に学生部が米国のベル会社から買い入れた最新鋭16ミリで、翌年4月にクランクインし12月撮影終了。写したフィルムは1,200フィート、映写時間は40分である。製作にあたっては、各学部自治会、サークル、教職員による映画製作委員会を作り、脚本を募集し、俳優は全学生から委員会のイメージに合う者を選抜した。当選した脚本は吉富久人氏(教育学部4年)と寺下英明氏(経済学部4年)の合作だった。

なお、この映画「学園」は、平成20(2008)年に本学において半世紀ぶりに復刻されている。

